業務棚卸表（事後評価表）

A表

年度	平成19年度

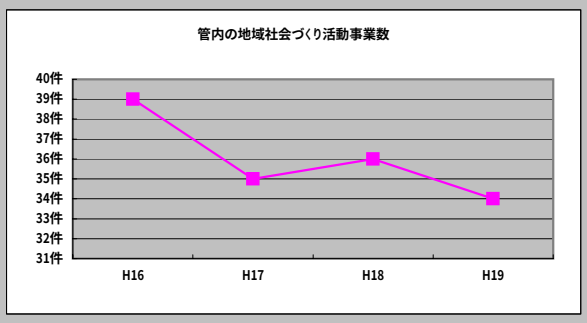
基本目的　3	人権が尊重され、市民が主体となって取り組む協働社会になる
基本目的　8	市民が自己を高め、生きがいをもって暮らせる
基本目的　9	行政機能が高くなる
行動目標3－2	市民主体でまちづくりが行われる
行動目標8－2	市民が生涯を通じて学習、スポーツ活動に取り組める　（所属名　八郷地区市民センター　）
行動目標9－2	公正で効率的な行政運営を行う

任務目的	地域における市行政の窓口として、市民の利便性を高めるとともに、市民による地域活動を促進する。	達成度	☆☆☆

任務目的の成果・活動指標の推移

管内の地域社会づくり活動事業数

H16実績	39件
H17実績	35件
H18実績	36件
H19実績	34件
H19目標	40件
H20見込	40件



窓口対応の満足度

H16実績	80.0%
H17実績	85.0%
H18実績	90.0%
H19実績	91.0%
H19目標	95.0%
H20見込	95.0%

講座開催数

H16実績	42回
H17実績	42回
H18実績	45回
H19実績	38回
H19目標	45回
H20見込	45回

指標の説明

地区市民センターの主要な業務である、地域社会づくり、窓口・相談、公民館における生涯学習講座の開催について、わかりやすい、代表的な指標として、管内の地域社会づくり活動事業数、窓口対応の満足度、講座開催数を掲げた。

○　任務目的に対する評価

これまでの取組と成果、手段の妥当性

平成19年度実績

○地域内の活動事業数は、前年度に比較してやや減少しているものの各種団体はそれぞれに活発な活動を行っている。特に防災連絡協議会では18年度に作成した防災マニュアルに基づき防災訓練を行い、地域自治会と協働して大地震における緊急避難訓練と情報伝達訓練を実施した。その結果、訓練当日には5,000人の住民が参加して災害時の課題や解決策などの共有が図れた。
○親切、丁寧で明るい市民センターづくりに努めるとともに、事務処理についても迅速かつ正確を基本に心がけ、ほぼ目標を達成できた。
○講座の開催については回数は減少しているが、講座内容の充実を図り集客に努めた。

平成20年度見通し

○地域住民によるまちづくり活動を地域マネージャーと連携して積極的に支援していく。
○窓口業務において迅速かつ正確に心がけるとともに、親切で明るいセンターづくりに努める。
○今後も各種講座の内容充実を図り、集客に努める。

これからの課題、施策等展開の方向性

○今後も地域活動団体の自主、自立を促進するとともに、活動団体事務局の機能充実を図り、役割を明確にして活動団体の活性化を支援していく。
○地域住民に親しめるセンターづくりに努めるとともに、高齢者による窓口相談も増加していることから、親切、丁寧をモットーに職員全員で窓口業務の充実を図る。